

油圧ショベル(クローラ式) 特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書発行日 H27 年 6 月 3 日 様式SR-EHC-01-C

証明書発行No. 5-141 標準No. 0944892

メーカー名 ユベル工業機		管理No. G4-360		使用者住所 中城村字久場1991番地	
型式 SK30SR-5		走行距離 — km		氏名又は名称 町田機工株式会社	
製造番号 PW14-47422		稼働時間 1066 h		機械管理者氏名 町田 宗才	
性能 0.07m³ kg		車検有効期間 —		検査業者登録番号 第 1 7 号	
検査実施場所 町田機工吉古(営)		検査業者又は事業者住所・名称 沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)		責任者 ア吉小生	
検査年月日 H27 年 6 月 3 日		検査者氏名 町田 宗才		責任者名 ア吉小生	

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	
エンジン	1	本体	★ a 始動性 かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動 ★ b 回転の状態 アクセルの作動、回転具合 ★ c 排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ ★ d エアクリナー ケースのき裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 ★ e 締付け シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み ★ f 弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) ★ g 圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ h 噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ i 噴霧状態 噴霧状態 良○不良× ★ j 過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ ★ k エンジンマウント ブラケットのき裂・変形、緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、触診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター 目視、聴診 目視、レンチ等	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ — —	— — — — — — — — — — — —	
	2	潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ・損傷	目視	✓	—	
	3	燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老朽、エレメントの汚れ・目詰まり	目視	✓	—	
	4	冷却装置	水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老朽、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(き裂・摩耗、損傷)、ファン・カバー、ダクト等の亀裂・損傷・変形・取付	目視、触診、スケール	—	✓ A	
	5	電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電流電圧計	✓	—	
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	—	—	
	7				—	—	
	走行装置	8	起動輪、遊動輪	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓	—
		9	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓	—
		10	履帯	シュー亀裂・変形・摩耗、取付、リンク・シューき裂・摩耗、ピッチ長、たわみ、ピン抜け、ゴムパット(取付・老朽・摩耗)	目視、スケール、探傷器	✓	—
		11	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老朽・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	—	—
		12	履帯調整装置	作動、調整ボルト等の亀裂・変形・腐食・摩耗、シリンダー油漏れ	目視、操作、探傷器	✓	—
		13	走行減速機	異音、異常発熱、ケース亀裂・損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	✓	—
14					—	—	
制動	15	駐車ブレーキ	効き	目視、操作	✓	—	
	16				—	—	
作業装置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	亀裂、変形、摩耗、がた、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	✓	—	
	18	ツース	脱落、がた、摩耗	目視、触診	✓	—	
	19	ブレード	亀裂、変形、摩耗、がた、取付	目視、操作、探傷器	✓	—	
	20	フック	変形、摩耗、亀裂、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ノギス	✓	—	
	21				—	—	
油圧装置	22	作動油タンク	油量・汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブリーザ目詰まり、取付	目視、石けん水	✓	—	
	23	フィルター	汚れ目詰まり、油漏れ	目視	—	—	
	24	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂、損傷、老朽、ひび割れ、ねじれ、油漏れ、取付	目視	—	—	
	25	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量・吐出	目視、聴診、触診、	✓	—	
	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	旋回用 冷却用 走行用 ブーム用 ブレード用 アーム用 スイング用 バケット用 オフセット用	テスター ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	— — — — —	
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打尻、亀裂、曲がり、撓り傷	目視、操作、スケール、タイマー	✓	—	

3 年 間 保 存

G4-360

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容						
油 圧 装 置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓							
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓							
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓							
	31											
操 作	32	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓							
	33											
安 全 装 置	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓							
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓							
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓							
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓							
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホーズ損傷・老化		✓							
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓							
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ギア等閉鎖、ロックキー作動、 ガラスのがた・損傷		✓							
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓							
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓							
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓							
	44	表示板	損傷、取付		✓							
	45	燈火装置、警音器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、浸水	目視、操作	✓							
	46	計器類	作動	目視	✓							
	車 体 関 係 等	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影		✓						
48		給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	—	—						
49												
50		総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓							
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス 減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—						
事業 者 等 の 要 求	次回特定自主検査実施年月 128 年 6 月 使用前に保守点検を行って下さい											
補 修 等 の 措 置 内 容												
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容								
4	タンベルトのたまり		127.6.3	タンベルト調整								
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。				記 号	交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水	該 当 な し
	X	△	A	T		C	L	—				